

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【公表番号】特表 2002-542296 (P2002-542296A)
 【公表日】平成 14 年 12 月 10 日 (2002.12.10)
 【出願番号】特願 2000-613446 (P2000-613446)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)
A 6 1 K 31/555 (2006.01)
A 6 1 K 33/24 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
A 6 1 K 38/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06
 A 6 1 K 31/555
 A 6 1 K 33/24
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 K 37/24

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 16 日 (2007.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】癌治療用の医薬組成物を製造するための、化学療法的に有効量の抗腫瘍剤とヘマトクリット上昇剤との組み合わせ使用であって、この際、前記抗腫瘍剤が、シスプラチン又はカルボプラチンであり、しかも、前記ヘマトクリット上昇剤が、エリスロポイエチン又はエリスロポイエチンに似た物質であることを特徴とする、癌治療用の医薬組成物を製造するための抗腫瘍剤とヘマトクリット上昇剤との組み合わせ使用。

【請求項 2】前記抗腫瘍剤がシスプラチンであることを特徴とする請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】前記抗腫瘍剤がカルボプラチンであることを特徴とする請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】前記ヘマトクリット上昇剤がエリスロポイエチンであることを特徴とする請求項 1 記載の使用。

【請求項 5】前記ヘマトクリット上昇剤がエリスロポイエチンに似た物質であることを特徴とする請求項 1 記載の使用。

【請求項 6】前記抗腫瘍剤がシスプラチンであり、前記ヘマトクリット上昇剤がエリスロポイエチンであることを特徴とする請求項 1 記載の使用。

【請求項 7】前記シスプラチンが、 $25 \text{ mg} / \text{m}^2 \sim 300 \text{ mg} / \text{m}^2$ の間の量にて使用されることを特徴とする請求項 6 記載の使用。

【請求項 8】前記シスプラチンが、 $50 \text{ mg} / \text{m}^2 \sim 100 \text{ mg} / \text{m}^2$ の間の量にて使用されることを特徴とする請求項 7 記載の使用。